

平成28年度 魚沼市社会科部 活動報告

部長 山之内方史

1 研究主題

魚沼市内の史跡や事業所等を訪問して理解を深め、授業に活かす
児童・生徒の学力を高めるための授業指導力の向上を図る

2 研究の概要

(1) 総会・第1回小学校社会科部会

- ①期日 平成28年4月20日
- ②会場 魚沼市立堀之内中学校
- ③内容 研究主題の検討
今年度の活動計画作成

(3) 第3回小学校社会科部会

- ①期日 平成28年8月5日
- ②会場 西福寺開山堂
J A北魚沼雪室米倉庫
目黒邸他
- ③内容 地域巡検

(2) 第2回小学校社会科部会

- ①期日 平成28年7月8日
- ②会場 魚沼市立小出中学校
- ③内容 師範授業・講演会

講師：倉澤秀典様（新潟市立白新中学校教頭）

授業：中学校第3学年「日本国憲法と基本的人権」

演題：「アクティブラーニングに基づく社会科授業づくり」

3 研究の実際

(1) 師範授業・講演会

基本的人権の意味と重要性をジグソー法を活用しながら、子どもたちが主体的に学習する授業のあり方について参観した。講演会では、社会科におけるアクティブラーニングを行う意味や学習方法等について分かりやすく講演いただいた。



(2) 地域巡検

開山堂では、幕末の名匠石川雲蝶の作品群を見学し、文化的に価値の高い雲蝶の作品を通して、その力強さと華やかさについて学ぶことができた。J A北魚沼雪室米倉庫では、コシヒカリの名産地としての雪を使って夏でも低温で米を貯蔵できるシステムを見学し、雪による冷蔵機能の効果を理解することができた。目黒邸では、江戸から明治にかけて割元庄屋として、地域の産業や教育、文化等に尽力してきた豪農の住まい、古文書、生活用具等を見学し、魚沼の地における近代化推進の足跡を学ぶことができた。

4 成果と課題

巡検では教材化に向けて訪問に適した時期や重点的に見学させたい箇所、ボランティアガイドや担当部署の方との連絡の取り方などについて細かく理解を深めることができた。また、師範授業では、小中の教員が授業を通して交流できたことが非常によかった。

課題として、見学先についての情報の共有を確実に行っていくことが大切であり、貴重な事業所や文化財等を授業で有効に活用するために、分野別に情報をデータベース化して引き継いでいくことが重要である。